

【大阪府公共事業における】景観アドバイス対応報告シート

記入日	2025/7/2			
記入者	所属	公共建築室 一般建築課 設計工事第一G		
	担当者名	榎本	連絡先（内線）	4613
事業名称	大阪府立寝屋川高等学校改築工事			
景観アドバイザー会議 の実施状況	実施の有無	あり（義務）	第1回	2023/1/5
	第2回	2025/6/30	第3回	2026/7/9

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応	
	第1回アドバイザー会議での意見		
周 辺 環 境 ・ 外 構 空 間	官民間わず大きい敷地計画の場合は、街に貢献すべき。 寝屋川市の市街地は緑が少なく、地域の緑景観への貢献のためにも校内の緑は非常に重要になってくる。本計画だからこそできることを探してほしい。	対応状況	対応済み 地域生態系に配慮し、特定外来種等の樹種の使用を避け、コナラ・アベマキ群落やシイ・カシ等の照葉樹を取り入れた地域性樹木の選定を想定している。
	大阪府立吹田東高校を良好な景観形成に寄与した公共事業の事例としているが、周辺の土地利用をしっかりと踏まえた上で、立地条件などの違いなどを十分認識し、良いところを参考にしてほしい	対応状況	対応済み 地域生態系に配慮し、特定外来種等の樹種の使用を避け、コナラ・アベマキ群落やシイ・カシ等の照葉樹を取り入れた地域性樹木の選定を想定している。現存の樹木の利用も含め、北側の商店街及び西側の通学路の沿道景観の魅力化に寄与する樹木の選定を行う。
	定時制があり、夜間も授業がある高校なので、高校生の学習環境をしっかりと整えるため、夜間景観にも十分配慮してほしい。	対応状況	対応済み 夜間利用の想定される定時制の活動エリアや、放課後の生徒の居場所となる食堂や図書機能を1階に配置することで、上階(全日制の活動エリア)の照明は抑えられ、街にまぶしさを与えず、低層部の賑わいがまちに溢れる計画。
	校舎本体だけでなく、周辺のフェンス・緑・掲示物も含めて設計されるような条件設定がされると良い。プロポーザルの仕様書の作成において、提案を求めることは非常に重要。	対応状況	対応済み 現正門前の学校教育理念の掲示は継承を想定している。女学校時代の正門前のデザインの踏襲、築山、アーチ玄関の継承により、卒業生含む寝屋川高校関係者、近隣住民にも親しんでもらえる学校づくりとする。
	公共建築物として周辺環境との調和の見本となるよう、この地域の色を反映して周辺へ示して欲しい。また、地域の風土・歴史・文化を考え、周辺環境に影響を与える景観に配慮した設計・提案をしてほしい。今後、校舎の維持管理を継続していくことで、周辺の建替や道路整備などにより街全体へ地域の色が広がれば、とても良い街ができると思う。	対応状況	対応済み 豊かな自然環境を提供している寝屋川・淀川河川敷のように、多種多様な植物(プランター緑化)により、学生にとって「憩いの庭」となるテラスを提供します。寝屋川の川上から川下まで、川辺の賑わいが連なる風景を想起させる、ステップテラスとして設え、上階から下階まで屋内外の活動が表出し連なる場を提案。

周辺環境・外構空間	寝屋川市駅周辺は商業地区だが、寝屋川高校付近で突然住居地域に用途地域が変わっているためその変化も面白い。そういった面白い変化も地域の色で繋げられるような調和の仕方も面白い。	対応状況	対応済み
		地域の特性を活かした外装材の選定、色彩計画とする。	
	密集している市街地の中の高校が地域に対してどのようなオープンスペース・伸びやかな風景を作ってあげられるか、また生徒にもその伸びやかな通学風景を提供してほしい。	対応状況	対応済み
		一部敷地境界からオフセットした位置にフェンスを設け、地域への余白(オープンスペース)の提案を想定している。正門前広場や正門附近の交流テラス等の地域利用も可能な計画を想定している。(地域開放は学校と要協議)	
	現在の正門側の通学路は狭く危険であり、また校舎の周囲をフェンスで囲まれているため、快適な通学路となるよう計画してほしい。	対応状況	対応済み
		通学時の安全性に配慮し、道路幅員が広く、歩道の整備されている西側道路に面して正門、通用門を計画している。	
木質化	植栽計画について、通学の動線や地域の方々が目にするところに大きな配慮をお願いしたい。	対応状況	対応済み
		地域生態系に配慮し、特定外来種等の樹種の使用を避け、コナラ・アベマキ群落やシイ・カシ等の照葉樹を取り入れた地域性樹木の選定を想定している。現存の樹木の利用も含め、北側の商店街及び西側の通学路の沿道景観の魅力化に寄与する樹木の選定を行う。	
	学校の場合、一般の建築物に比べて金額のわりに空間が貧しいなど、他の建築物では当たり前のことができていないことが見受けられる。当たり前をきちんと設計し、通学される生徒たちに建築における工夫が分かるような取り組みを是非ともしていただきたい。	対応状況	対応済み
		メンテナンス性、機能性等、各諸室に適した仕上材を選定し、快適な学習環境を整備する。	
木質化	計画地に設置される看板や案内サインの設計だけでなく、外側に向けた駅からの案内などのサイン計画にも目を向けてほしい。	対応状況	対応不可
		本工事内では敷地内のサイン計画のみとなるため、敷地外へのサイン計画の提案は難しいと思われる。	
木質化	考慮事項に掲げている内装の木質化については、木材利用促進の計画に基づき、学校という学び舎を暖かみのある空間とするため、外装についても木質化できればよいが、木材は劣化が進みやすく、維持管理が難しい。道路沿いにおいて、内装の木質化が外側から見えるような工夫があれば、学校らしい柔らかい雰囲気が周囲にも伝わる内装等としてプロポーザルで設計者から色々と提案を求めていることもよいと思う。	対応状況	対応済み
		維持管理に配慮し、木材は内装材としての利用を想定している。食堂は正門側に開いた計画とし、内装の木質化を積極的に行い、木の温かみがまちにしみだす計画を想定している。	